



第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師
プレイズリード：郭永東牧師

前奏
頌栄
主の祈り

540

プレイズ

「慕い求めます」
「主のいやし受け取ろう」

聖書朗読

マタイ 28:16~20

祈禱

(新約聖書 p60)

賛美

214

メッセージ

「イエスの至上命令」

祈禱

新生 557

賛美

聖餐

献金

報告

頌栄

新生 672b

祝禱

衆衆
衆衆
司會
司會
衆衆
牧師
牧師
衆衆
司會

<巻頭言>

「サミル宣教10年」

牧師 渡真利彦文

教会の成長を可能にする原動力は、「宣教に専念する姿勢」にあることを示されている。サミル宣教は2012年2月に最初の宣教チームを迎えた。今年2022年2月サミル宣教は10年目となる。サミル宣教チームを迎える私たち教会は、何を思い共に協力するのだろうか。

宣教チームを迎えることについて時折ためらう声を聞くこともあるが、そのたびに私はこう思う。私たち胡屋教会もボーリングジャー宣教師の熱い宣教の思いを受けて1959年、新井夫妻の2階座敷で開拓が始まった。胡屋教会は第一教会、泡瀬教会、屋慶名教会と教会を生み出したが、そのことに満足してはいけぬ。また沖縄最初のプロテスタント宣教は1846年のベッテルハイム宣教師により、また沖縄におけるバプテストの伝道は1891年、原三千之助牧師、タムソン宣教師により開始された。戦後、貧しく荒廃していた私たち沖縄に宣教師が来なかったら、私たちのような恵みを受けたクリスチャンが存在したであろうか。私たちが受けた恵みを覚える時、いまだ福音を聞いたことのない人々のために宣教に出て行くスピリットを持つことが大切といえる。

サミル宣教チームを迎えることは胡屋教会の一人ひとりが救いの恵みに甘んじるのではなく、一人の救いのために遣わされる私であることを忘れないためである。イエス・キリストは神の子でありながら、自分自身を無とし、私たちの世界に遣わされた。主イエスは最初の宣教師である。私たちも主に倣いたいと願う。

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

第二礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師

聖書：Iペテロの手紙4:12-16
(新約 p432)

メッセージ：「キリストの苦しみ」

プレイズ：「その御名は」「鹿のように」

賛美：新生21 新生385

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利彦文牧師

司會：渡真利千佳子姉

聖書：マルコ13:32~37

メッセージ：「だから、目を覚ましていなさい」